中小企業景気動向調査

（2026年7～9月調査）

きんしん
景況レポート
vol.193
（2026年10月15日発行）

目次

全業種業況概要（業況～設備の状況） …… 1
業種別業況の推移 …… 4
　製造業／卸売業／小売業 …… 4
　建設業／サービス業／不動産業 …… 5
特別調査「中小企業における生成AIの利活用について」 …… 6

●**調査方法**
この調査は中小企業を対象にWebアンケートを実施しご回答いただいたものです。

●**調査時点**
2026年9月初旬

●**調査対象時期**
2026年7月～9月実績及び
2026年10月～12月予想

● **調査対象企業の業種別及び有効回答数**

	企業数	構成比(%)	有効回答数	回答率(%)
製造業	48	32.4	27	56.3
卸売業	13	8.8	6	46.2
小売業	25	16.9	11	44.0
建設業	24	16.2	9	37.5
サービス業	25	16.9	10	40.0
不動産業	13	8.8	4	30.8
合計	148	100.0	67	45.3

分析方法　D.I（ディフュージョン・インデックス）

A=良い（増加・上昇・過剰）
B=ややA
C=普通（変わらず・適正）
D=ややE
E=悪い（減少・下降・不足）

$$D.I=(A+B)-(D+E)$$

この調査の中では傾向を見る方法の一つとしてD.Iを中心として分析したもので、D.IはDiffusion Index（拡張指数）の略です。
企業が景況判断・予想を5段階（A.B.C.D.E）で行います。不変部分（C）を除いて増加（AもしくはB）したとする企業が全体に占める構成比と減少（DもしくはE）したとする企業の構成比のどちらの力が強いかを比べて、時系列的に景気のベクトル（方向線）の傾向を見る方法です。

概況　業況は改善、売上額・収益はともに悪化

金沢信用金庫が行った中小企業67社の景気動向調査（調査回答先：金沢市中心の業務区域内148社・回答率45.3％）の概況は次のとおり。

今期の全産業ベースの業況判断DI（「良い」・「やや良い」－「悪い」・「やや悪い」の構成比、以下同じ）は3.0（前期▲9.2）と12.2ポイント改善。

業種別では、卸売業が16.7（前期▲80.0）と96.7ポイント、建設業が22.2（前期▲8.3）と30.5ポイント、サービス業が▲10.0（前期▲12.5）と2.5ポイント、不動産業が25.0（前期0.0）と25.0ポイント改善した。他、製造業は0.0（前期0.0）と横ばい、小売業が▲9.1（前期▲6.3）と▲2.8ポイント悪化した。また全産業ベースでの来期予想DIは4.5と1.5ポイント改善すると予想している。

全産業ベースの売上額判断DIは▲6.0（前期1.3）と▲7.3ポイント悪化し、収益判断DIも▲16.4（前期▲9.2）と▲7.2ポイント悪化したが、来期予想では、売上額判断DIが17.9と23.9ポイント、収益判断DIも3.0と19.4ポイント改善すると予想している。

今回の調査で経営上の問題点として最も多かった回答は前回に引き続き「原材料高」（全回答中37.3％）で、以下、「売上の停滞・減少」（全回答中29.9％）、「人手不足」（全回答中28.4％）であった。また、当面の重点経営施策として最も多かった回答は「経費を節減する」（全回答中43.3％）で、以下、「人材を確保する」（全回答中38.8％）、「販路を広げる」（全回答中19.4％）という結果となった。

（注）2026年4～6月を前期、2026年7～9月を今期、2026年10～12月を来期という。以下同じ。

景況天気図

（この天気図は、景気指標を総合的に判断して作成しました。）

好調 ←  → 低調

時期 / 業種名	2024年（令和6年）	2025年（令和7年）				2026年（令和8年）			見通し 2026年（令和8年）
	10月～12月	1月～3月	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	4月～6月	7月～9月	10月～12月
総合									
製造業									
卸売業									
小売業									
建設業									
サービス業									
不動産業									

全業種

	2024年(令和6年)	2025年(令和7年)				2026年(令和8年)			見通し 2026年(令和8年)
	10月~12月	1月~3月	4月~6月	7月~9月	10月~12月	1月~3月	4月~6月	7月~9月	10月~12月
業況	7.5	▲16.7	0.0	0.0	6.1	▲14.0	▲ 9.2	3.0	4.5
売上額	27.4	▲17.8	8.0	11.5	19.5	▲25.0	1.3	▲ 6.0	17.9
受注残	15.1	▲17.0	4.2	15.9	11.1	▲22.9	▲ 4.8	▲ 2.8	25.0
収益	15.1	▲24.7	▲11.2	▲ 3.5	16.0	▲19.8	▲ 9.2	▲16.4	3.0
販売価格	26.2	14.4	15.7	23.0	15.2	9.7	31.6	26.9	31.3
原材料価格	49.5	53.9	42.0	46.5	46.9	43.0	70.3	62.1	61.5
在庫	▲ 1.1	8.5	1.3	4.2	11.6	▲ 7.5	▲ 2.9	1.8	0.0
資金繰り	▲ 4.7	▲14.4	▲ 6.7	▲ 8.0	▲ 2.5	▲19.4	▲ 1.3	7.5	0.0
雇用(人手)	▲38.3	▲28.9	▲40.4	▲37.9	▲36.6	▲39.8	▲25.0	▲28.4	▲31.3
設備状況	▲17.2	▲20.0	▲14.6	▲14.6	▲11.8	▲11.6	▲12.7	▲14.3	▲15.9

設備投資動向

設備投資は、不動産業を除いた63社の動向です。

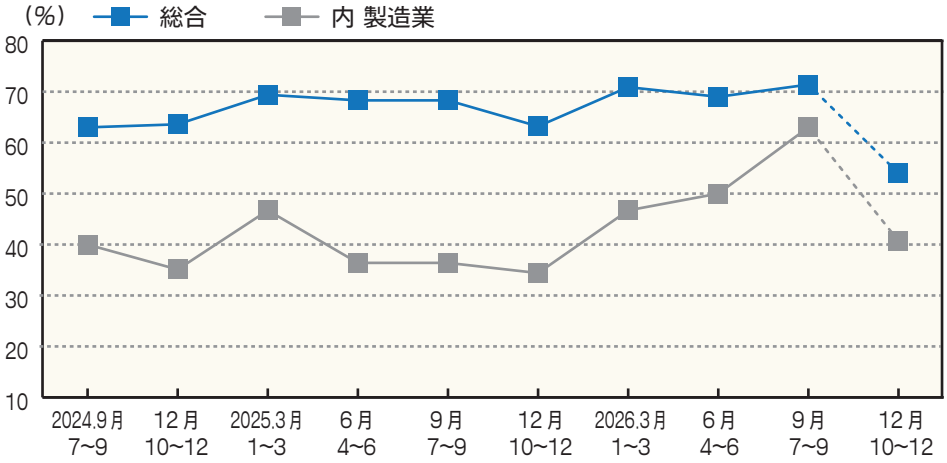
● 7~9月の設備投資実施状況

		有	無
総合	数	45	18
	%	71.4	28.6
(内 製造業)	数	17	10
	%	63.0	37.0

(来期見通し)

		有	無
総合	数	34	29
	%	54.0	46.0
(内 製造業)	数	11	16
	%	40.7	59.3

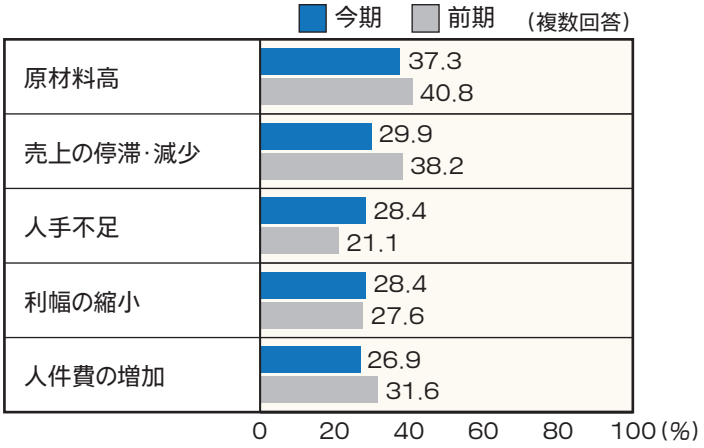
● 設備投資実施(予定)割合



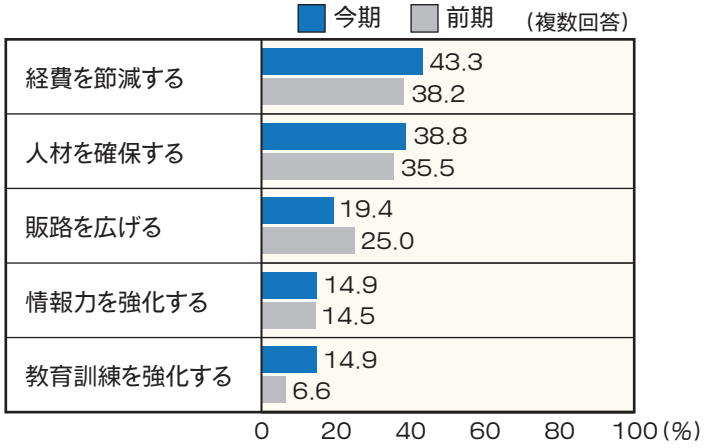
● 7~9月に実施した設備投資の内訳(複数回答)

		事業用土地·建物	機械·設備の新増設	機械·設備の更改	事務機器	車両	その他
総合	%	3.2	7.9	41.3	14.3	22.2	3.2
(内 製造業)	%	0.0	7.4	44.4	18.5	3.7	7.4

経営上の問題点



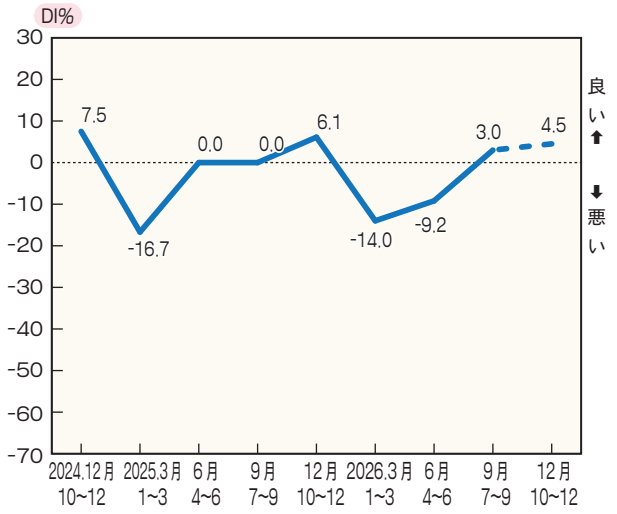
重点経営施策



全業種

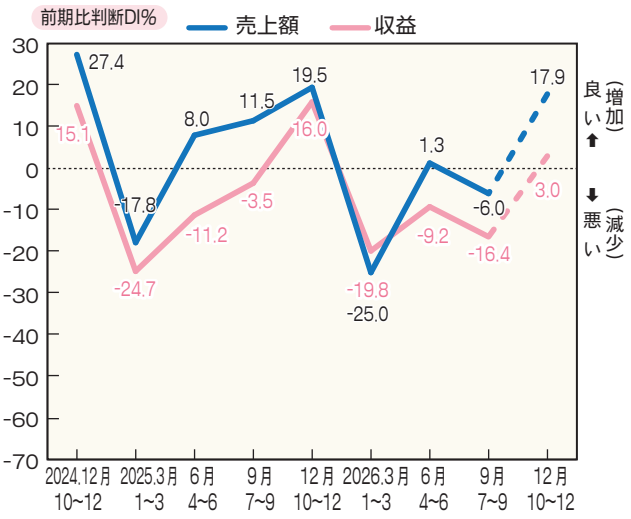
業　況

前期から12.2ポイント改善、
来期もさらに改善すると予想



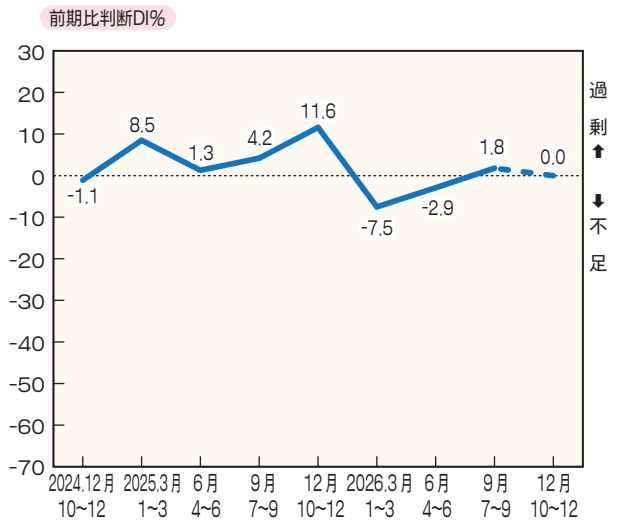
売上額・収益

売上額・収益ともに悪化、
来期はともに改善すると予想



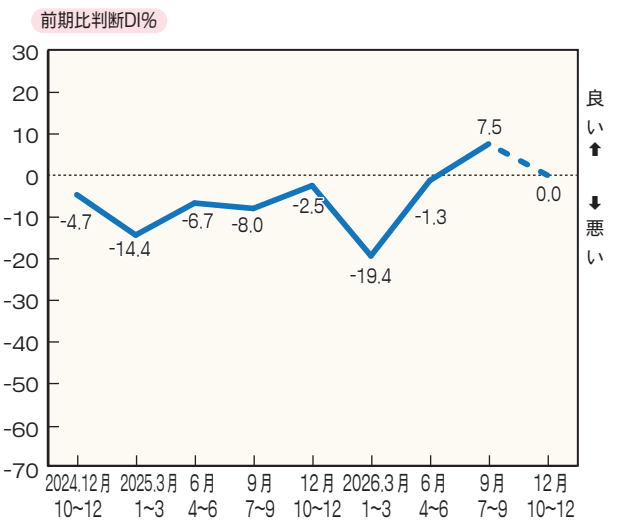
在　庫

今期1.8（前期▲2.9）と増加



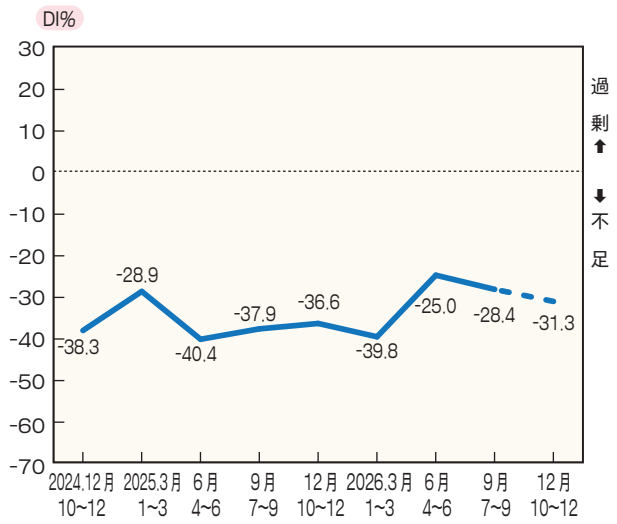
資金繰り

今期7.5（前期▲1.3）と改善



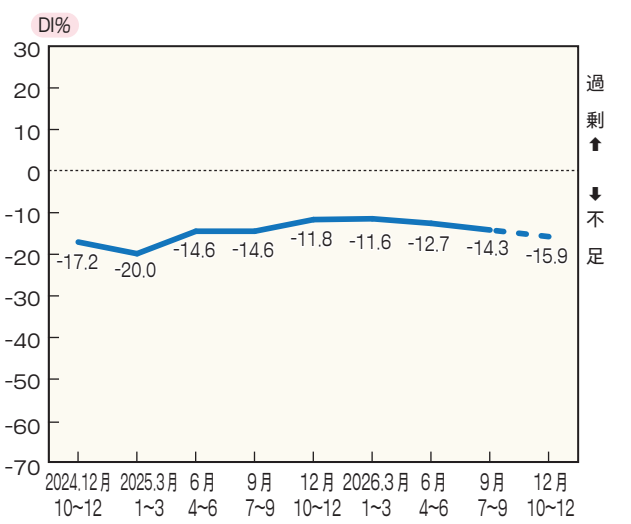
雇　用

今期▲28.4（前期▲25.0）と
やや人手不足感が増加



設備の状況

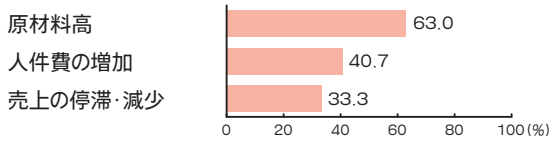
今期▲14.3（前期▲12.7）と
減少



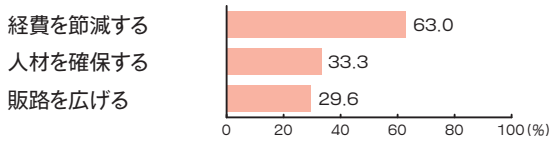
製造業

業況は横ばい、売上額・収益は悪化

◆ 経営上の問題点



◆ 重点経営施策



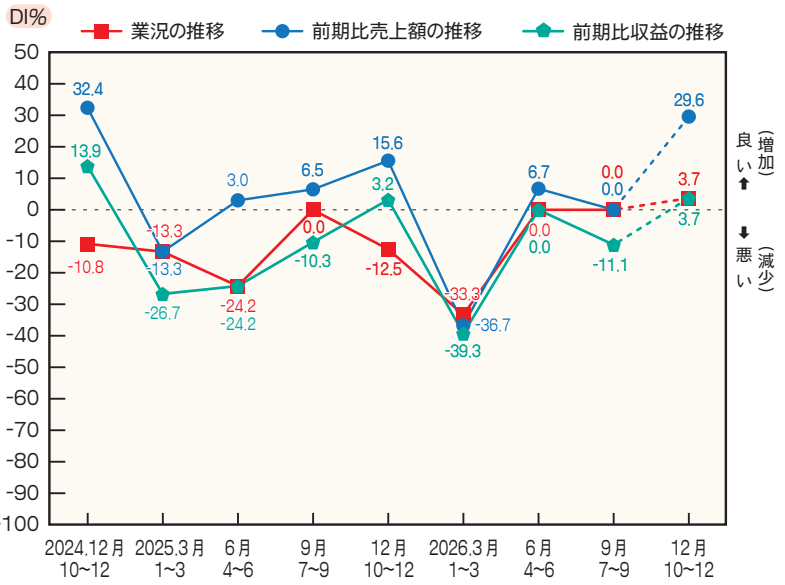
◆ 昨年同時期(2025年7~9月)に比べた動き

売上額	18.5
収　益	3.7

◆ 借入金の動き

借入の実施	29.6%
借入の予定	22.2%

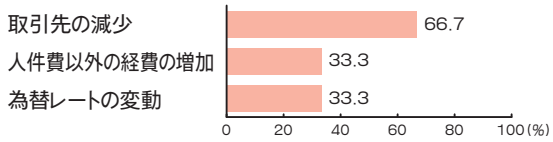
◆ 業況判断D.I・前期比売上額･収益の推移



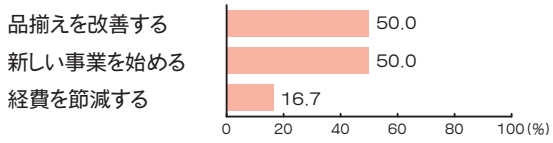
卸売業

業況・売上額・収益ともに改善

◆ 経営上の問題点



◆ 重点経営施策



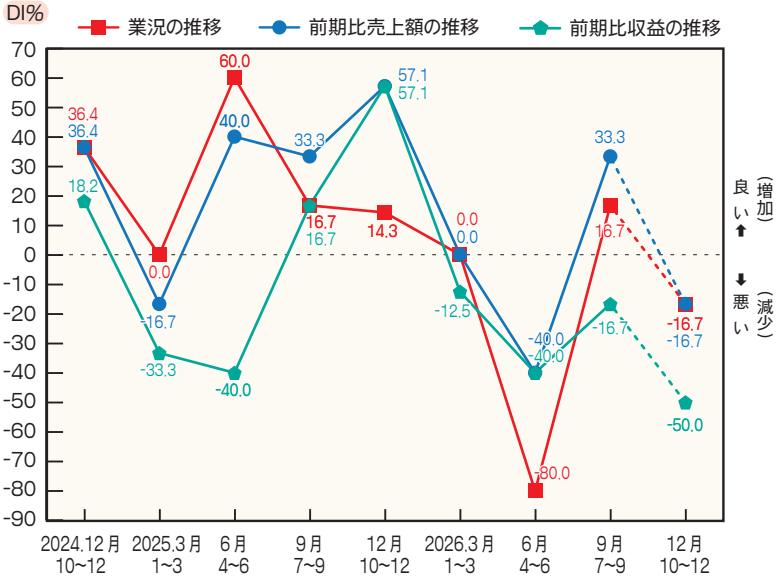
◆ 昨年同時期(2025年7~9月)に比べた動き

売上額	33.3
収　益	33.3
販売価格	83.3

◆ 借入金の動き

借入の実施	33.3%
借入の予定	50.0%

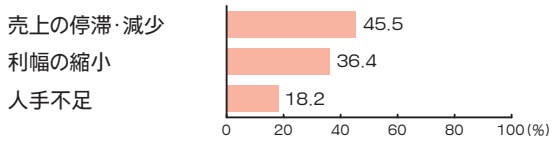
◆ 業況判断D.I・前期比売上額･収益の推移



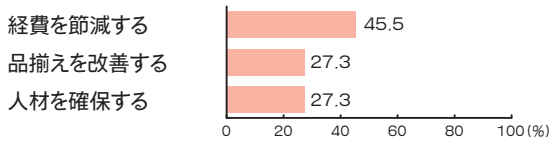
小売業

業況・売上額は悪化、収益は改善

◆ 経営上の問題点



◆ 重点経営施策



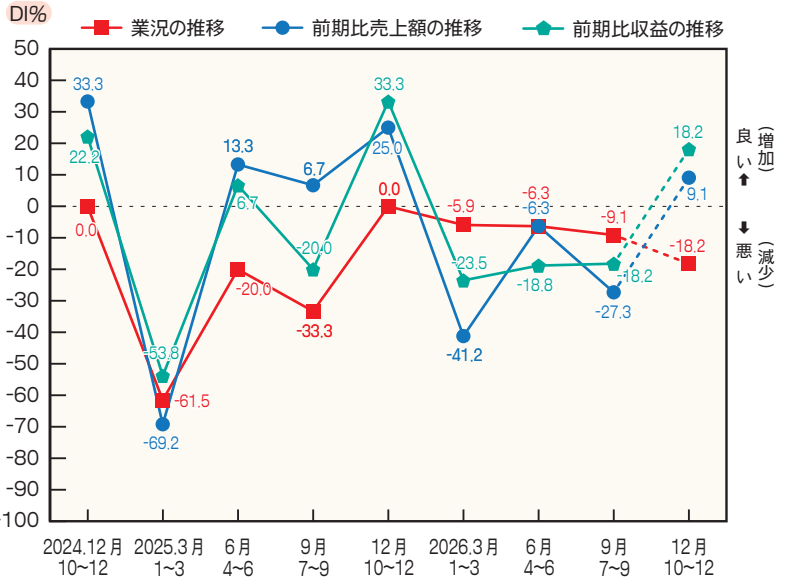
◆ 昨年同時期(2025年7~9月)に比べた動き

売上額	9.1
収　益	▲9.1
販売価格	36.4

◆ 借入金の動き

借入の実施	18.2%
借入の予定	18.2%

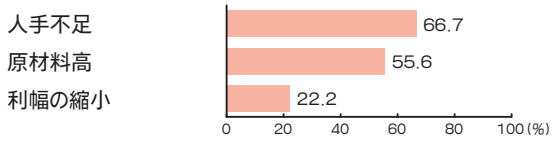
◆ 業況判断D.I・前期比売上額･収益の推移



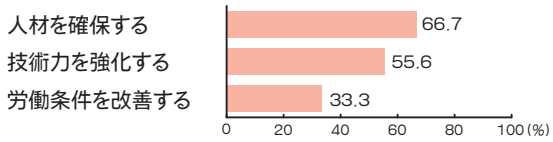
建設業

業況・収益ともに改善するも売上額は悪化

◆ 経営上の問題点



◆ 重点経営施策



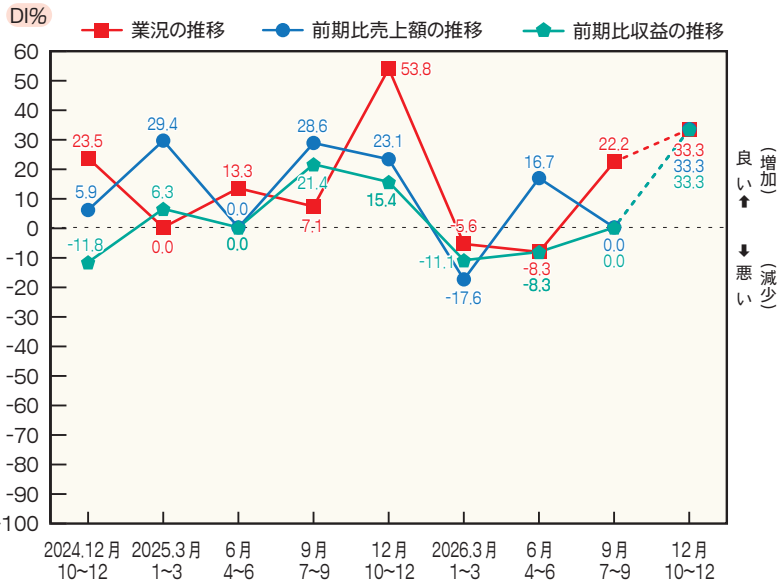
◆ 昨年同時期(2025年7~9月)に比べた動き

売上額	11.1
収　益	0.0

◆ 借入金の動き

借入の実施	22.2%
借入の予定	44.4%

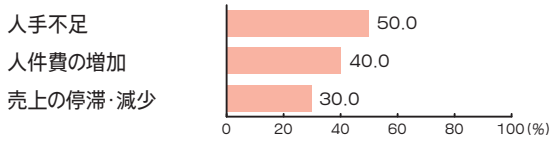
◆ 業況判断D.I・前期比売上額･収益の推移



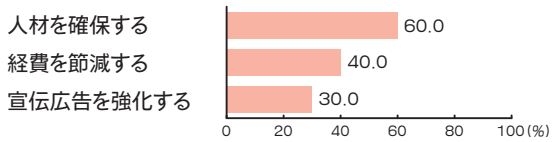
サービス業

業況は改善、売上額・収益は悪化

◆ 経営上の問題点



◆ 重点経営施策



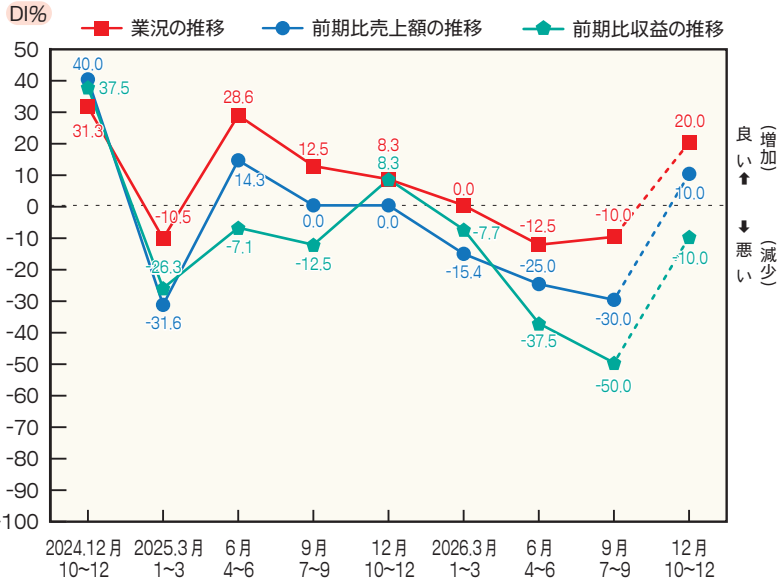
◆ 昨年同時期(2025年7~9月)に比べた動き

売上額	▲20.0
収　益	▲20.0

◆ 借入金の動き

借入の実施	50.0%
借入の予定	20.0%

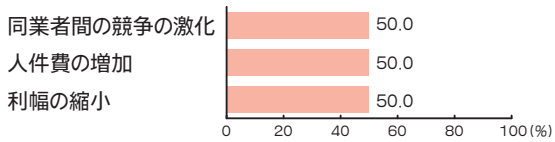
◆ 業況判断D.I・前期比売上額･収益の推移



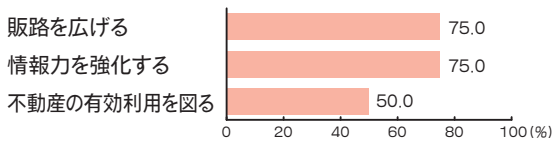
不動産業

業況は改善するも売上額・収益ともに悪化

◆ 経営上の問題点



◆ 重点経営施策



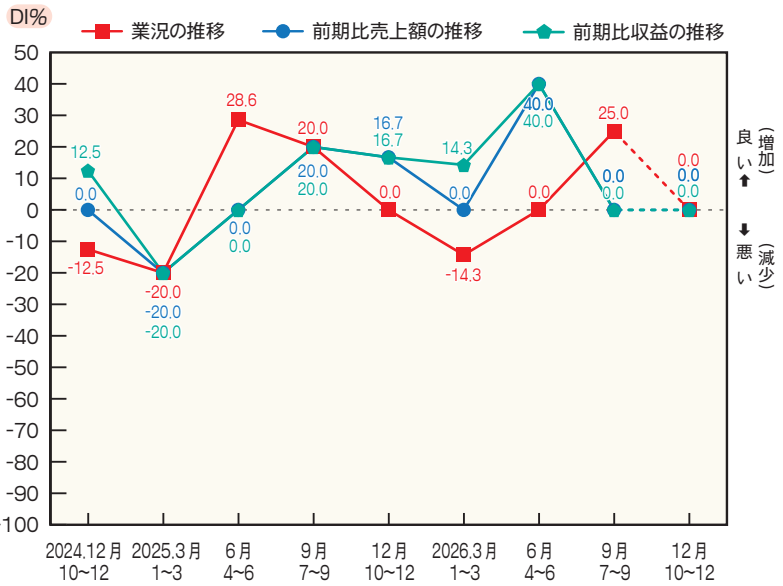
◆ 昨年同時期(2025年7~9月)に比べた動き

売上額	25.0
収　益	25.0

◆ 借入金の動き

借入の実施	0.0%
借入の予定	25.0%

◆ 業況判断D.I・前期比売上額･収益の推移



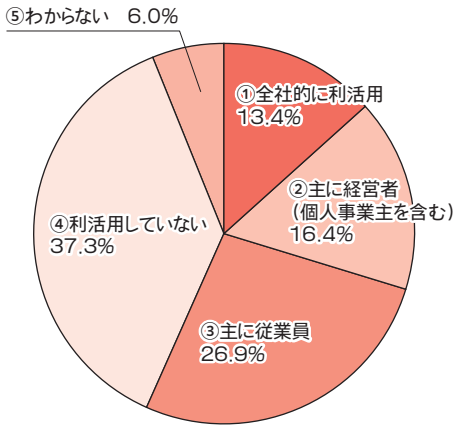
特別調査　中小企業における生成AIの利活用について

67社に調査し回答をいただいたものです。

1

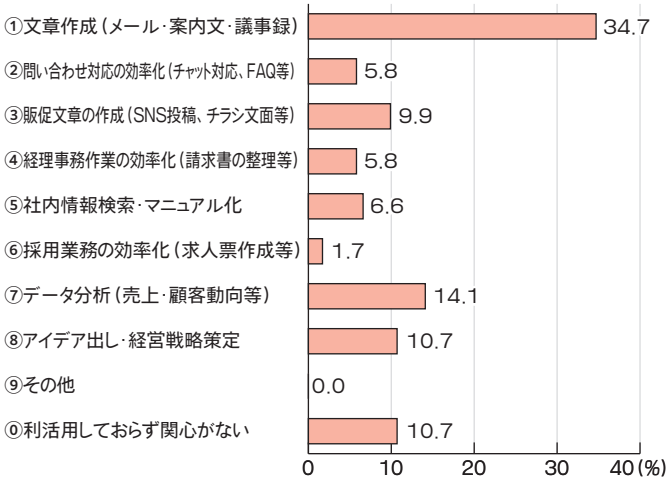
貴社では、業務上で生成AI（ChatGPT、Gemini、Claude、DeepSeek等）を利活用していますか。利活用している場合は主にどのような方が使っていますか。①～⑤の中から1つ選んでお答えください。

利活用している



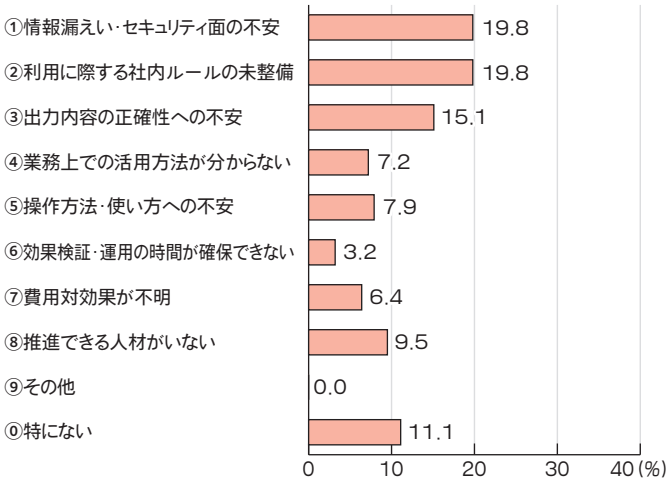
2

貴社では、業務上で生成AIをどのような用途で利活用していますか。また、現時点で利活用していない場合は、どのような用途での利活用に関心がありますか。下記の①～⓪の中から当てはまるものについて3つ以内で選んでお答えください。



3

貴社が生成AIを業務で利活用する上で、課題となる点は何ですか。もし現時点で利活用していない場合は、その理由は何ですか。以下の①～⓪の中から当てはまるものについて3つ以内で選んでお答えください。

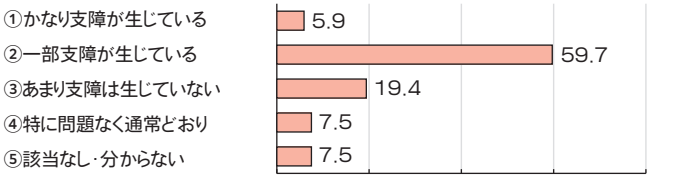


4

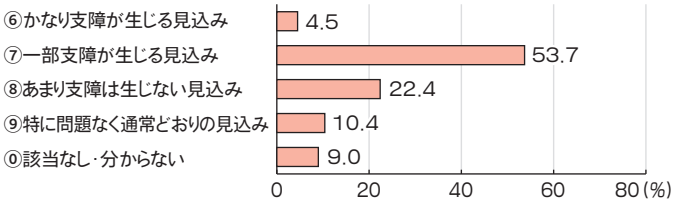
中東情勢による影響

2026年春以降の中東情勢の混迷等により、貴社では原材料・商品等の調達（仕入れ）に際して、欠品や納期遅れ等、価格面以外での支障が生じていますか。直近（6か月程度）の状況について①～⑤の中から、今後（6か月程度）の見通しについて⑥～⓪の中から最も当てはまるものをそれぞれ1つずつ選んでお答えください。

直近



今後



5

中東情勢による影響

原油価格等の高騰や、原材料・商品等の調達が困難な状況が生じています。これを受けて、今後、行政に求める支援策は何ですか。以下の①～⓪の中から当てはまるものについて3つ以内で選んでお答えください。

